

クマに翻弄された 2023 年の湯元キャンプ場

お騒がせしました。

奥日光に限らず、各地でクマの目撃が多かった 2023 年。ビジターセンターで販売しているクマ鈴が完売してしまうほど、お客様のクマへの関心が高かったことが分かります。

毎年、たくさんの人でにぎわう日光湯元キャンプ場。しかし今年は、湯元内でクマの目撃が早朝と夜間に相次ぎ、8 月下旬から 10 月下旬まで閉鎖していました。



キャンプブームもあり、初めて当キャンプ場を利用される方も多く嬉しいことなのですが、ゴミの管理が不十分なお客様が目につくのも事実です。国立公園内のためゴミは全てお持ち帰りいただいておりますが、時には林の奥へ隠すように埋められていたり、炊事場のシンクにそのまま放置されていたりと、見回りをする職員が哀しい気持ちになることがしばしば。

よく言われるように、山でドングリや木の実が不作になると、食べ物を求めてクマが麓に降りてくることがあります。そんな時に食べ物が放置されていれば、空腹のクマがそれを食べに来るのは当たり前のこと。今回は幸い事故はありませんでしたが、キャンプ場が閉鎖になったことで今一度、奥日光がいかに野生動物と近い場所なのかを感じていただけたのではないかと思います。

以前もキャンプ場内にクマが出没して、閉鎖になったことがありました。今後も同様に急遽閉鎖することがあり得ますので、ご利用の際は当日の朝にもホームページをご確認ください。2024 年こそは全日営業できるよう願って、お待ちしております！

定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024 年 3 月号 (No.156) ～ 2025 年 12 月号 (No.163)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

〔申し込み方法〕

ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

＼アドレスが変わりました／

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2023 年 12 月初旬発行 [次号 2024 年 3 月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

楓通信

2024 年度 No.155

12-2 月号



ビジターセンターの雪灯り

今号の特集

< 特集 1 > 今年は紅葉が遅かった？

< 特集 2 > ビジターセンターのイベントレポート

Q 今年、紅葉が遅かった？

A 「紅葉の始まりが遅かった」という表現が正しい

今年（二〇二三年）は各地で「紅葉が遅れている」とニュースになりました。私たちビクターセンターの職員も、いつまでたっても木々が鮮やかな緑色から変わらない奥日光にソワソワしたものです。

では、実際のところどのくらい紅葉が遅れたのか。去年（二〇二二年）の記録と比べてみました。

下の写真は、去年と今年の秋の湯ノ湖です。十月八日時点での様子を比べてみます。去年は黄緑色になり始めていますが、今年は奥の白根山方面が白くなっているにも関わらず、木々は濃い緑色のままです。

十一日を過ぎてやっと変化がありましたが、見頃はまだ先だろうと思われました。ところが、その後数日の冷え込みにより三、四日で一気に色づき、十六日には見頃になってしまったのです。これには、長年勤務している職員も驚いていました。

こうして比べてみると、今年の奥日光は「紅葉の始まりが遅かった」という表現が正しいといえます。奥日光の全てのエリアで、とは言えませんが、見頃のピークの時期は去年と大差ありません。とはいえ、近年の見頃は平成の時代よりも遅い傾向があるので安心はできませんが…。

ところでつまずいてしまった、というイメージでしょうか。

今後の紅葉はどうなる？

よく言われるように、近年は温暖化の影響からか、年によって紅葉の時期にばらつきがあります。比較的例年通りに色づき始めることもあれば、一週間以上遅れることも。規則性があれば良いのですが、自然のことなのでなかなかそうもいきません。お客様からも「今年の紅葉はいつ見頃になりますか？」と、特によく聞かれます。しかし、私たちは「例年通りならこの頃」という回答しかできていないのが現状です。見頃に近い時に紅葉を楽しみたいというお客様の気持ちに寄り添いたいところなのですが、先にも述べた通り、長年勤務する職員ですら予想がつかない状況であることも、ご理解いただけますと幸いです。



▲ 今年の竜頭ノ滝。見頃の時期は去年とほぼ同じでした

10月16日（上：2022年、下：2023年）



10月8日（上：2022年、下：2023年）



メディアやネットで「紅葉が遅れている」という内容を毎年のように目にするのと、「紅葉の時期が年々遅くなっていくのではないか？」と心配してしまいます。しかし、決してそんなことはありません。ここ数年、例年に比べ遅れが出ているのは事実ですが、二〇二三年の時点では、「一週間前後の遅れ」に留まっています。

予想外な紅葉シーズンを迎えることが多い近年。ついマイナスな面ばかりに目がいきがちですが、ぜひ見方を変えてみていただきたいと思えます。

見頃にはまだ早いと思いつつ足を運んだら、前日の急な冷え込みで見頃になっていた、なんてこともあります（しかも、道路の大渋滞に巻き込まれない！）。

また、前号でも記載した通り、紅葉の名所ごとに標高差がある奥日光は、お目当ての場所の紅葉には早かったけど、標高の高いところは見頃だった、というのもよくある話です。「もしかしたらサプライズがあるかも」くらいの気持ちで、ぜひ今後も奥日光の紅葉を楽しみにいらしてくださいね。

9/25 温泉ヶ岳と金精峠
～明治の文人たちが辿った道～

2023年のイベントレポート！



ビクターセンターでは貴重なガッツリ登山イベント。平日開催だったせいか参加者は少なめでしたが、他の方に気兼ねすることなく、皆さんそれぞれのペースで楽しんでいただきました。たまにはガッツリも良いですね！

金精峠から温泉ヶ岳へ登り菅沼へ降りるという、ちょっとトリッキーなルートへ！峠からの下りは入口付近が暗く立ち入るのに勇気がいりますが、整備されすぎていない道は、ありのままの自然の中を歩いているような気分になります。

この日は景色も最高！なんだか、奥日光ではないみたい！？ご覧ください、お客様のこの笑顔！とっても嬉しそう～。

7/21 辿り着いても分からない！？
カクレ滝へいざ探検！



シカ管理専門員（通称シカ班）の職員も同行し、森に棲む動物の話も交えながら滝を目指す人気のイベント。普段ほとんど人が立ち入らないコース上には、動物の痕跡が…！

メインの滝を見るには、膝下まで水に浸かりながらジャブジャブ歩く必要があります。「冷たい！」と言いつつ、カメラを向けると楽しそうにポーズ！水にドボンしないとハラハラするのも、冒険感があって楽しいですね～。

沢を渡ったり水の中に入ったり…ハードではないけれどバリエーション豊かで、ひたすら楽しい本コース。楽しかった～！

6/10 どうする！？シカ問題

シカ進入防止柵の巡視ルートをシカ班の職員と一緒に歩くイベント。奥日光のシカ問題に関するリアルな話に、皆さん興味津々！初めて参加された方も常連さんも、ガイドの解説に対したくさん質問してくださり、私たちも嬉しかったです～！動物に詳しいシカ班ならではの、生き物に特化したイベントになりました。ガイドが持参した本物の毛皮や骨にも皆さん大興奮！

楽しく歩くツアーはもちろん、奥日光の問題点も知っていただくべく、同様の企画もぜひ今後チェックしてみてくださいねー！



9/2 ～修験の聖地を清める旅～
御沢金剛峯と金剛湧水



天気にも恵まれず、ずっと中止が続いていた本イベント。やっと実施できました！たぶん5年越しくらい…。苔で滑りやすい上に岩がゴロゴロ、足場の悪い道中にも関わらず、皆さん大はしゃぎ！真夏とは思えないヒンヤリとした空気の中、気持ちよくイベントを楽しむ



ことができました。

また、今回はさらに、水源地である「金剛湧水」にも探検！湧き水の清らかさに、持参したボトルに水を汲んで帰る方も。湧き水を囲んで、コーヒーでカンパイ！

かつて修験者が歩いた御沢金剛峯。今回は皆さんにゴミ拾いもして頂きました。「心が洗われるね」と、ガイドも含め全員が、晴れ晴れとした気持ちでイベントを終えました。

8/12 究極の闇体験！
日光湯元ナイトハイク

温泉街の光が届かない湯元スキー場の奥へ行き、夜の自然観察をしました。

真っ暗な森の中で一斉にライトを消し「本当の闇」を体験！すぐ隣にいる人の姿さえ見

えなくなり、大人もお子さんも「うわっ！」とビックリ！大盛り上がりでした。

道中ではシカのヌタ場を発見。シカの毛や足跡を見ることもできました。

最後は星空観察。雲が多く厳しいかと思われましたが、空を眺めて待っていたら徐々に星が…！最終的には満点の星空を見ることができ、お客様だけでなくガイドも大感動のイベントになりました！



ビビターセンターイベント

ゼロから始めるスノーシュー

1月27, 28日(土, 日)

9:30-14:30

「スノーシューって何？」という、まさにゼロから始める方にもってこいなイベント。ただ歩くだけでなく、動物の痕跡を探したり解説を交えながら、冬のフィールドの楽しみ方もお伝えします！土日どちらかでご都合の良い日にどうぞ！

【ルート】日光湯元 VC⇄湯元スノーシューコースのいずれか（積雪状況による）

参加費 4,000 円

(レンタル代別途必要)



対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：日光湯元ビビターセンター

定員 各回 15 名

特別感に酔いしれる！ ナイトスノーシュー&花火

2月3日(土)

18:45-20:15

この日は湯元で花火大会（約10分）があるのです！スノーシューで湯元スキー場のゲレンデ中腹から花火を見ましょう！さらに、現地にて温かい飲み物をご提供。帰りは動物の痕跡を探しながら戻ります。満足すること間違いなし！楽しいですよ～！

【ルート】日光湯元 VC→湯元内→湯元スキー場→日光湯元 VC

参加費 2,000 円

(スノーシューレンタル代込み！)



対象：現地に集合できる小学生以上の方
集合場所：日光湯元ビビターセンター

定員 20 名

～フカフカの新雪と静寂の森歩き～ 冬の『三岳峠』

2月17日(土)

9:00-15:00

「三岳なんてあったっけ？」そんな方でも楽しめる、新雪歩きの冒険コース！スノーシューコース以外をガッツリ歩いてみたい方にもオススメ。ハードな道ではないので、気になる方はぜひ！雪がフカフカですよ～！※一般ルート外のため参加費は割高です※
【ルート】日光湯元 VC→三岳峠→光徳 P（現地解散）

参加費 5,000 円

(レンタル代別途必要)



対象：現地に集合できる中学生以上の方
集合場所：日光湯元ビビターセンター

定員 15 名

水源を探しに冬の森を探検！『光徳溪谷』

3月2日(土)

10:00-14:30

スノーシューが初心者の方でも問題なく楽しめる特別なコースです！川の流れをたどって、光徳沼に流れる水の水源を探しに行きましょう！

誰もいない森を進む感覚は、まさに探検！水辺歩きが好きな方もぜひ。秘密のスポットから見る男体山や温泉も…！？

【ルート】光徳 P→光徳沼→水源地→光徳 P

参加費 4,000 円

(レンタル代別途必要)



対象：現地に集合できる小学5年生以上の方
集合場所：光徳無料駐車場

定員 15 名

お申込み先（自然公園財団日光支部）

※アドレスが変わりました！※

✉ yumotovc.guide@npfj.or.jp

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和3年～5年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所（郵便番号含む）⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段